

熟議に参加される皆様へ

まずはこの書類（資料A）をお読みください。

「熟議 2014 in 兵庫大学」の進め方

熟議はなぜ必要なのでしょう？

「熟議 2014 in 兵庫大学」にご参加いただき、ありがとうございます。

参加される皆さまの多くが、実は、はじめて「熟議」という言葉をお聞きになったのではないのでしょうか。「熟議」という言葉は、熟慮と議論を併せた言葉です。

なぜ「熟議」は必要なのでしょう？

日本では、選挙で国や地方の代表者を選ぶことにより、社会を動かし、政策を進めています。国会では私たちの代表者が議論を交わし、また市や県でも、選挙で選ばれた議員と市長・知事が議論を交わし、よりよい社会のための活動を行っています。これを政治と呼んでいます。

しかし、自分たちが生活をする小さな地域（コミュニティ）のことについて決めたり、課題を解決したりするには、今の政治の方法だけでは難しいのです。

こんなことを想像してください。

家の近くの道路に穴があいていて危ない状況です。地元の市役所（役場）に電話をして直すようお願いをしました。しかし、市役所（役場）からは「ほかにも、穴のあいている道路があって、どこを先に直すべきかわからない」との返事。道路を直す予算が少なく、どこを優先すべきか、ルールを政治や行政では決められないようです。この時、住民たちは、市役所（役場）に頼らずに、自分たちで道を直すことにしました。政治や行政に頼らない方法ですが、誰が、どのように直すのか、自分たちで決めなければなりません。

住民が課題に対して熟慮するとともに、それについて議論を行う「熟議」がここから始まります。「熟議」は政治の動きを助けるための手法でもあるのです。生活をする地域ごとに課題が異なり、住民もさまざまです。誰が、何を、どのようにすることが地域にとってよいことであるのか、「熟議」によって示すことは、大いに必要とされるでしょう。

熟議は話し合いとは違うのですか？

課題について議論する重要性はご理解頂いただけましたか？

これまでも、学校の中で、あるいは職場や地域の中で、課題を解決するために話し合いをしてきた経験がおありだと思います。これは民主的な方法であり、正しいやり方と教わってきました。こうした、話し合いと「熟議」とはどこが異なるのでしょうか。

「熟議」は熟慮し議論するもので、熟慮が議論の前にあります。話し合いで出てくる新たなアイデアは貴重ですが、一方で、事前の情報が不足し、参加者が互いに認識を共有しないまま話し合いがおわったり、結論が必ずしも現実を反映していなかったり、ということもしばしばあります。

熟慮をすることで、課題を理解し、自分の考えを整理しておけば、実のある議論ができると思います。「熟議」は、そうした熟慮の段階を議論の前に持つことで、議論だけよりも、課題の解決や方針を立てることに近づくことができると考えられています。



「熟議 2014 in 兵庫大学」はどのように進められますか？

「熟慮の段階」、「議論の段階」、「共有の段階」、「振り返りの段階」、そして「活動の段階」の5つを基本としています。

(1) 事前に学習し認識を持ちましょう（熟慮の段階）

まず「熟慮の段階」の説明をいたします。「熟議 2014 in 兵庫大学」のテーマである、(1)加古川地域の防災・減災、(2)加古川地域の防犯、について皆様に学習し、熟慮をして頂きます。ここでは、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の2市2町を「加古川地域」と定義していることをご了解ください。

熟慮のために、皆様にインターネットから「宿題」をお送りいたします。

① 「熟議 2014 in 兵庫大学」のページをご覧ください

下記アドレスにて、「熟議 2014 in 兵庫大学」のホームページをご覧ください。パソコンの他、スマートフォンからでもご覧いただけます。「兵庫大学」+「熟議」でも検索いただけます。

<http://www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/>

このページから、皆様に対して宿題を出し、また資料を提供します。必ず、それをご覧ください。

最初の宿題を同封しております（資料 B となっています）。回答はホームページからご回答ください。パソコンやスマートフォンをお持ちではなく、ホームページをご覧になることができない方は、同封しております回答用紙をご利用の上、アンケートと一緒にご返送ください。最初の宿題は、当日に議論するテーマを決めるためのものです。しっかり読み、熟慮し、テーマを選び、その理由を添えてご回答ください。

② アンケートにご回答ください

これらを済ませた後、資料 C 『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート」にご回答ください。記名アンケートですが、集計を致しますので、個人情報が出ることはありません。

③ 資料を郵送してください

以上、すべての作業が終わりましたら、資料 C 『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート」を返送用封筒でご返送ください。なお、ホームページをご覧になれない方は、資料 B も同封してください。

④ 今後の宿題はホームページに掲載されます

今後も、熟慮のために宿題を出します。これらはホームページに掲載されます。その場合、回答はメールにてお願いを致します。またご質問なども随時、ホームページから受け付けております。是非ともご活用ください。

事前の学習

ホームページを見る

右欄にチェックをしてください。

最初の宿題に回答

右欄にチェックをしてください。

資料 C のアンケートに回答

右欄にチェックをしてください。

資料を郵送

右欄にチェックをしてください。

(2) お互いの認識を出し合い、議論をしましょう (議論の段階)

それぞれの方が熟慮をした結果を一つの場に持ちより、それを開示し話し合う「議論の段階」となります。

11月24日(祝日)に会場となる兵庫大学5号館にお越しください。その際には、この「資料A」、その他各自で必要と思われる参考資料をお持ちください。

会場では、指定されたテーブルにおつきください。申し込みの際、申告を頂きました「地の人」「風の人」を踏まえてのテーブル配置になっております。

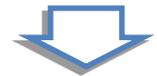
議論の進行は、ファシリテーターを務める学生が行います。どのように議論を進めればよいか、不安をお持ちにならなくても大丈夫です。あなたは熟慮をされて議論に臨むのですから。

議論では、「資料B」の宿題に出したテーマから、皆様からの回答を踏まえ、(1)加古川地域の防災・減災、(2)加古川地域の防犯、について、それぞれ1つのテーマについて議論をします。

議論



本資料を持参



議論に参加

右欄にチェックをしてください。

(3) 議論の結果や結論を共有します (共有の段階)

各テーブルでの議論が終われば、その結論を参加者が共有するのが「共有の段階」です。

今回の場合、時に賛否が分かれるようなテーマで議論をして頂きます。そして、そうした難しいテーマであるがゆえに、解決をするためには発展的な結論が出ることを期待されます。

「地の人」「風の人」に分かれたテーブルから代表者が、結果を持ちより、それを巡って議論を深めます。代表者以外の方々は、それをアリーナからしっかりと聞き取ってください。

「地の人」「風の人」で結論の方向や考え方が異なるのであれば、「地の人」と「風の人」は対峙し、より深い議論をすることができます。意見が異なることを恐れてはいけません。恐れるべきは、そうした議論のできない社会なのです。

議論の共有



地の人、風の人に
分かれて議論

右欄にチェックをしてください。



議論をしっかり
聞く

右欄にチェックをしてください。

(4) 仲間づくりと自分の成長（振り返りの段階）

さて、議論の共有も終わりました。皆様一人一人の心の中で、地域づくりへの認識はどのように変わりましたか。振り返るため熟議当日『熟議 2014 in 兵庫大学』参加者・アンケート（事後）」にご回答ください。

もう一つ重要なことが、「熟議 2014 in 兵庫大学」の成果を発揮するための仲間づくりです。これから活動を共にする仲間を見つけてください。

振り返り



事後のアンケートに回答

右欄にチェックをしてください。

(5) 今後の活動（活動の段階）

今回開催した「熟議 2014 in 兵庫大学」での仲間とともに、その成果を今後の地域での活動を行うことが大切です。それぞれの立場で、それぞれの考え方をもち、共に活動することが、熟議の最大の成果となります。兵庫大学・兵庫大学短期大学部は、そんなあなたをこれからも応援します。

今後の活動



活動を行う

右欄にチェックをしてください。